



## 第 48 回 ASPAC 年次総会ポート・ディクソン大会

事務総長 山田明彦

パンデミックによりオンラインとなっていた ASPAC 大会が 3 年ぶりに  
実地で開催されました。会場はマレーシアのポート・ディクソン。  
登録者数は全体で 791 名、  
内日本から 38 名（ほかに夕食会のみ参加のゲスト 1 名）。

3 月 14 日（火）～15 日（水）

- ASPAC 研修会議  
総会に先駆け、  
クアラルンプールで研修会議  
が行われました。  
日本からの出席者は  
宮崎次期ガバナー、  
山田事務総長、  
二階堂広報委員の 3 名。



3 月 16 日（木）

- ASPAC 役員会



9:00 am – 3:00 pm の長時間にわたり、ASPAC 役員会が  
行われました。日本からの出席者は、吉國ガバナー、  
藤原 KI 理事、吉田 KCF 理事、野間 ASPAC SLP 副委員  
長の 4 名。

- フォーラム  
今回初めての試みとして、  
6 月の国際大会で討議される規約改正案や  
国際会費の値上げ案について、国際会長や国際専務理事らと自由討議をする機会が設けられました。



- 日本地区夕食会  
日本地区の会員・家族 21 名が参加しました。

3月17日（金）

● ワークショップ

こちら初めての試みとして、6つのワークショップが用意されました。  
内容は次の通り：

1. キワニス 4.0/ASPAC VO/ソーシャル・メディア
2. NGO の TikTok
3. 世界のボランティア
4. K キッズ
5. 地区メンバーシップ・サミット
6. クラブ・メンバーシップ・サミット

● 開会式



ASPAC 役員等の入場後、ロイヤルファミリーの DYMM TUNKU AMPUAN BESAR NEGERI SEMBILAN TUANKU AISHAH ROHANI BINTI ALMARHUM TENGKU BESAR MAHMUD 様をお迎えして、総会開会式がスタートしました。



この中では体に障がいを持って生まれた 15 歳のスイマー、Zy Kher Lee 君の基調講演があったほか、ASPAC のバーチャル・オフィスとしてキワニス 4.0 が導入されたことが報告されました。



- 展示審査

日本地区の展示は神戸クラブの「絵本コンサート」。

紹介ビデオをパネルに照射するなど工夫を凝らし、吉國ガバナーが審査員に説明をしました。



- カウボーイ・ナイト

カウボーイ・ハットがトレードマークの  
バート・ウェスト国際会長にちなみ、  
カウボーイ・スタイルでの夕食会が  
開かれました。

3月18日（土）

- 総会

- ・ 各地区ガバナーの報告



- ・ ASPAC 規約改正案：  
小田 ASPAC ガバナンス委員長による  
オンラインでの提案が異議なく承認されました。  
内容は、構成を改良し、参照を容易にする  
ためのもので、実質的改正はありません。
- ・ 選挙：次のメンバーが選出されました。



2023-24 ASPAC 議長	Sujan Shrestha	ネパール
2023-24 ASPAC 次期議長	Huang Wu-Tien	台湾
2023-24 ASPAC 副議長	Michelle Cordioli	ニュージーランド南太平洋
2023-24 キワニス国代表 (3 枠中 2 枠は未定)	Feliz Amor Marie Pellosma	グアム
2023-26 国際理事	Chang-Ching Hsu	台湾

なお、資格認定委員長を藤原 KI 理事が、選挙委員の一人を吉國ガバナーが務めました。

- ・ 姉妹キークラブ調印式  
埼玉クラブがスポンサーするクラーク記念  
国際高等学校さいたまキャンパス・キークラブと、  
グアム・クラブがスポンサーするセント・ポール・  
クリスチャン・ハイスクール・キークラブの  
姉妹クラブ調印式がハイブリッドで開催され、  
野間 ASPAC SLP 副委員長がその進行を務めました。
- ・ 2026 ASPAC 大会招致



2026年に国際大会を行うことになったフィリピン・ルソン  
地区が ASPAC 大会を招致し、満場一致で承認されました。

- 2022-23 及び 2023-24 ASPAC 合同役員会  
日本からは吉國ガバナー、宮崎次期ガバナー、藤原 KI 理事、  
吉田 KCF 理事が出席しました。
- 閉会式及びさよなら夕食会（世界ビーチ・パーティ）
  - ・ 地区および国による文化プレゼンテーション  
日本地区は国民的アニメ「ドラえもん」。ドラえもんにした  
吉國ガバナーを中心に、全員が主題歌に合わせて踊りを披露しました。



- ・ 各賞受賞者の発表

奉仕プロジェクト賞	1位	日本
	2位	台湾
展示賞	1位	フィリピン・ルソン
	2位	マレーシア
文化プレゼンテーション	1位	フィリピン・ルソン
	2位	インド

日本は、名古屋クラブの「キッズインタープリター養成支援事業」で応募した奉仕プロジェクトが最優秀賞を受賞しました。



- ・ 大会旗引き渡し  
マレーシア地区からオーストラリア地区へ  
ASPAC 大会旗が引き渡され、今大会は終了  
しました。



3月19日(日)

- 姉妹クラブ打ち合わせ



大会終了翌日、東京クラブとマニラ・クラブの  
メンバーが姉妹クラブ協定に向けての打ち合わせを  
しました。

